

2024 年度(令和 6 年度)

# 事業報告書

一般社団法人 小平市国際交流協会

## 会員の状況(2024年4月1日～2025年3月31日まで)

普通会員	学生	25人(うち美大10人)	賛助会費	個人※	232口
	個人	116人		団体・企業	13口
	団体	0口			

※(2口以上有、普通会員個人と重複有)

## 1. 多文化共生に関する事業

### (1) 日本語会話教室

#### ① 日本語会話教室(おとな) <担当(日本語会話教室グループ)>

【内容】外国人を対象に月・土曜日の午前及び金曜日の夜間、ボランティアによる日本語教室を設置する。生活会話を主とするが、ボランティアの体制が可能な限り要望に応じていく。

※各コースとも定期的に指導者が運営する茶話会を授業終了後実施している。

#### ② 日本語会話教室(保育) <(担当:保育グループ)>

※月・土曜日は学習者の子どもの保育を行う

(ア)おしゃべりタイム 日本語学習者、指導者、保育ボランティアの茶話会

【日時】 11月9日(土)、11月11日(月) 授業終了後

【出し物】白梅学園のボランティアの紙芝居や参加者全員による共通点ゲーム



#### ③ 日本語会話教室木曜日クラス(つなひろ こだいらクラス)

【内容】日本語会話学習の初心者を対象として、生活のための日本語が学べる日本語学習サイト『つながるひろがる日本語』(文部科学省)を使用したクラス。

昨年4月からつなひろ こだいらクラスのインスタグラムを開始しました。

※11月14日(木) 午前10時30分 第10回「ちゅうおうとしょかんにいこう」

実際に図書館に行って、登録をして、沢山図書も借りました。初めて図書館に入ったそうです。

	月曜日(午前)コース 36回			土曜日(午前)コース 36回		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
学習者 一回平均	19.4人	15.8人	16.3人	15.4人	14.2人	13.7人
新規申込のための見学者	0.9人	0.6人	0.9人	1.1人	0.5人	0.6人
指導者	8人	8人	7~8人	7人	6人	6人
茶話会の開催	4回	4回	3回	2回	1回	1回
保育子ども(登録人数)	1人	3人	5人	4人	4人	5人
保育ボランティア(登録数)※	22人	21人	21人	22人	21人	21人

※月曜日・土曜日共通

	金曜日(夜)コース 35回			木曜日(つなひろ こだいらクラス)		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
学習者 一回平均	10.7人	10.4人	7.5人	3.5人	2.4人	3.6人
新規申込のための見学者	0.5人	0.8人	0.6人	0.4人	0.4人	0.8人
指導者	5.2人	4.7人	4~5人	2.8人	2.4人	2人
茶話会の開催	3回	4回	2回	1回	1回	1回

#### ④ JLPT 直前対策講座(春開催)・JLPT 模擬試験&解説(冬開催)

＜担当(日本語会話教室グループ)＞

【内容】日本語学習者の日本語能力試験(JLPT)受験を支援するため、N2~N4の直前対策講座。昨年度からの変更点として、JLPTを受験しない学習者も対象とし、模擬試験とその解説、直前の集中講座を行った。冬は、模擬試験と解説だけで開催した。

期間・回数	春・5回	冬・2回
受講者	5人	2名
指導者	3人	2名

## (2) こども日本語・学習支援 <担当(こども日本語・学習支援グループ)>

【内容】外国につながる児童・生徒を対象に水曜日の放課後、日本語と学校の勉強をひとり一人に合わせてします。

曜日・時間	水曜日 16:10~17:40 (途中で10分休憩)	【2月5日現在】
回数	1学期 14回、2学期 16回、3学期 11回、夏休み 4回 延べ45回	
在籍児童総数	24名 (小1~中学3年) ※平均出席者15名程度	
出身(ルーツ国)別	中国17名、フィリピン1名、ネパール2名、アフガニスタン3名、アメリカ1名	
学年別	小学1年1名、2年0名、3年1名、4年2名、5年5名、6年0名	
	中学1年1名、中学2年5名、中学3年3名、高1 1名(卒業生のみ)	
登録ボランティア数	35名	
ミーティング	3回 5月22日、11月6日、3月12日	
「にじいろひろば」	配布先 市内公立小中学校教職員 発行部数 1100部 No.9 7月15日発行/日本語学習「取り出し授業」について No.10 12月15日発行/多言語絵本の読み聞かせ報告等 No.11 3月15日発行/外国からきた親子のための小学校準備教室を開催等	
その他	○東京学芸大学留学生センターとの連携 2020年度より、日本語教育専攻の大学院生が授業のフィールドワークとしてこども日本語ボランティアに参加。昨年度は、KIFAでボランティア説明会を実施し、今年度も引き続き4名がボランティアとして活動している。  ○JCOM取材 日時 6月12日(水) 放送日 8月31日~9月6日 ジモトトピックス(たまろくと)内で放映  ○武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科の学生が、こども日本語・学習支援のチラシを作成した。  ○10月から武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科の学生が授業の一環としてこども教室のボランティアに入って活動。活動中に見出した「多文化共生の課題」について「デザインアイデア」で解決する取り組みを行った。 成果物「くるびた日本語カード」	

## こども日本語・学習支援での様々な取り組み

※学芸大生による日本語ゲーム会の実施

令和6年7月17日(水)午後5時~6時20分

東京学芸大学の「日本語教育特論」の授業の一環

※小学生への絵本の読み聞かせ

学芸大学生による日本語ゲーム会



学芸大学生による日本語ゲーム会



○絵について話そう ムサビ生と楽しむ対話鑑賞 11月23日(土・祝) **KIFA イベント**

○絵本の世界を多言語で楽しもう 11月23日(土・祝) **KIFA イベント**

### ○親カフェ (保護者会)

<担当(こども日本語・学習支援グループ)>

【内容】保護者とのコミュニケーションの場がないため、気軽に話しができる会として開催した。

- 日時は、7月10日(水)午後6時~7時20分
- 対象者は、こども日本語・学習支援に来ている児童・保護者/当日参加者 2組3名
- 通訳は、中国語の通訳ボランティアが参加し、進行もやさしい日本語で行った。
- 気軽に話せる雰囲気のため、飲み物・お菓子を用意。
- 保護者からは、家庭での様子や教育方針、KIFAへの要望について話し合った。

### ○お楽しみ会

- 日時 12月18日(水)午後4時10分~5時30分
- 参加児童 15名
- 内容 読み聞かせと手遊び/お絵描きゲーム/一言スピーチ/お菓子/プレゼント
- お絵描きゲーム 5名1チームに分かれ、メンバーがお題に沿って順番に絵を描いていく。ホワイトボードに一人一人が少しずつ絵を描いていくためだんだんと全体像が分かってくる。
- 一言スピーチ 日本の好きなおとこ、将来の夢について一人一人が話した。

## ○外国から来た親子のための小学校準備教室

### <担当(こども日本語・学習支援グループ)>

- ・事業内容 小学校入学前の外国ルーツの子どもに小学校入学前に必要な日本語の読み書きや、日本の小学校での習慣などを学ぶ
- ・期間・回数 令和7年2月の土曜日 全4回
- ・参加者 4組(タイ、ネパール2、ジャマイカ)

## ○保護者会

- 日時 3月5日(水) 午後6時~7時30分
- 内容 高校進学について/将来に備えた在留資格について【入管の動画を再生した】
- 参加者 2組(在留資格は心配がなく、進学についての相談が中心になった)  
参加者感想として、貴重な生の情報が得られて満足してもらえた。ボランティアとしては、参加してほしい家庭の参加がないことが課題と捉えている。

## (3)第10回小平市日本語発表会 担当(市、日本語会話教室グループ)

- 【事業目的】市内のボランティア活動による日本語教室の学習成果を発表する場を設定し、小平市における多文化共生の促進を図る。学習者は、日頃の学習の成果を発表することで、学習意欲の向上を図り、指導者は、日頃の指導の成果を確認することで指導の改善に役立てる。
- 協力 市内の日本語支援ボランティア団体(6団体)及び小平市国際交流協会日本語会話教室
  - 発表内容 日本に住んでいて感じたことや体験したことを日本語で発表する。
  - 時期・会場 12月15日(日) 午後1時30分~ 中央公民館ホール
  - 準備会議 7月5日 学園西町地域センター 会議室で開催した。市内の地域日本語教室の代表者と活動状況等を共有した。昨年の日本語発表会の登壇者への質問について改善策について討議した。

## ○「日本語支援者になりませんか」

令和6年度 小川西町公民館事業企画委員会企画 地域支援講座(KIFAの事業ではない)

- 昨年の日本語発表会の会議で、指導者が不足している問題に対応するため、公民館の地域支援講座が開催される。
- 【内容】外国籍住民の現状、日本語支援の現状、あり方などについて理解し、実際の支援をどのようにおこなっていきのかを学びます。
- 【講師】瀧口理事長、三代副理事長、河原事務局長他
- 【日時】6月21日~7月26日の金曜日(7月12日を除く)
- 【場所】小川西町公民館

## ○「日本語支援ってなあに？」

令和6年度中央公民館 国際理解講座 外国籍の方の生活を日本語でお手伝い  
(KIFAの事業ではない)

- 【講師】瀧口理事長、三代副理事長、河原事務局長他
- 【日時】11月1日~11月29日の金曜日(11月15日を除く)、【場所】中央公民館

#### (4) 翻訳・通訳事業

#### <担当(翻訳・通訳チーム)>

- 他事業グループが主催する事業の広報チラシなどの翻訳協力・通訳協力
- 行政機関からの通訳依頼への派遣
- 行政機関からの文書翻訳依頼への対応
- 「やさしい日本語」担当をサブグループに位置付け、勉強会と文書のリライト発行。

事 項	内 容	
翻訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ (1) 「小・中学校への就学について」(発注元)小平市学務課</li> <li>・チラシ (2) こだいら防災救急フェア (8月25日(日)開催) (発注元)小平消防署</li> <li>・チラシ (3) 11月23日イベント 外国人のための無料法律相談会 (英語・中国語) 発注元 KIFA</li> <li>・チラシ (4) HPV ワクチン (キャッチアップ接種について) の説明文 (発注元)健康推進課 10月30日</li> <li>・申請書(5) (記入説明) 税務証明交付申請・軽自動車税関係申告用 (発注元) 税務課 12月19日</li> <li>・令和7年度市の新しい組織名称の翻訳(6) 「福祉政策課」 (発注元) 総務課</li> </ul>	
派遣通訳 (英語・中国語・スペイン語 【ボランティア登録言語】) (ネパール語【市内在住外国人】)	<b>【活動場所】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所担当課 7件</li> <li>・保育園 6件</li> <li>・福祉・児童福祉施設 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学 1件</li> <li><b>【合計】</b> 16件</li> <li>※CINGA に中継 1件</li> </ul>
外国人のためのリレー 相談会への派遣	開催 9月28日(土) 主催 関東弁護士会連合会、東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京 弁護士会 派遣 KIFA から 1名(スペイン語)派遣	
語学ボランティアの 説明会の開催	開催 8月24日(土) 午後3時～4時30分 内容 翻訳・通訳を行う語学ボランティアの募集の説明と現在通訳派遣 をしているボランティアからの体験談 広報 市報 /参加者 12名 うち3名がボランティア加入の仮登録	
コミュニティ通訳 講習会	開催 3月8日(土) 午後2時30分～4時30分 講師 東京外国語大学 内藤 稔氏 内容 コミュニティ通訳の役割についての考察と「記憶力」「ノートテ イキング」「要約」といった実際の通訳の現場に必要なスキルの学 習と練習、ロールプレイを通しての実践練習 参加者 7名 補助金 東京都つながり創生財団 利用	

災害時多言語翻訳 シミュレーション訓練 参加※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月30日(金)「東京都つながり創生財団主催 翻訳訓練」の参加 参加者 英語 2名、やさしい日本語 2名、中国語 1名 当日は、台風10号のため対面方式からオンライン方式に変更した。</li> <li>・9月7日「東京都主催 翻訳フィードバック研修」参加者 英語 1 名、 中国語 1名</li> </ul>
やさしい日本語 勉強会	勉強会開催 5月25日(土)、6月29日(土) 災害が発生した際、避難所の受付に使用される「避難者カード」のやさしい日本語への翻訳と作成(12月)
	やさしい日本語リーダー養成研修派遣 7月19日(金) 主催 公財 東京都つながり創生財団

## ○外国人のための無料法律相談会 11月23日(土・祝) **KIFA イベント**

### (5) 生活情報提供 <担当(生活情報提供チーム)>

【目的】在住外国人の抱える課題を探り、必要としている生活情報の提供を行うことにより、在住外国人の日常生活の利便性を図る。

#### 外国人のための小学校入学相談会

小学校入学に関する説明会および個別相談会を実施し、外国人保護者への継続的なサポートを行う。

#### 多文化カフェ

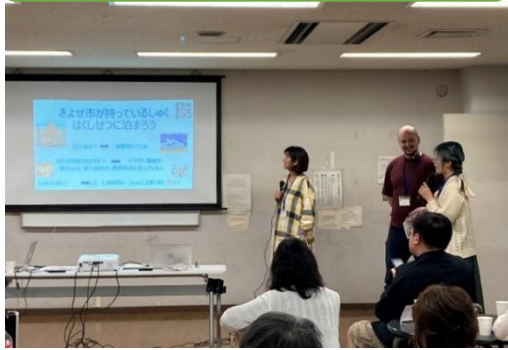
在住外国人のニーズの収集及び居場所づくりのため、ボランティアと在住外国人の懇談の場を提供する。

#### こだいらライフ

有志メンバーにより外国人向けのSNSを運用(インスタグラム、フェイスブック、旧ツイッター)。イベント、生活、お店、日本文化の4分野の情報を定期的に発信。フォロワーが500人を超えた。(2025年1月)

日 時	参加人数	備考
多文化カフェ① 4月21日(日)	11名	① 日本で安く旅行をしよう
多文化カフェ② 6月30日(日)	12名	② よさこい
多文化カフェ③ 9月15日(日)	11名	③ 防災クイズ
小学校入学相談会 10月5日(土)	5組6名	中国2人、ロシア、東アフリカ、ネパール
多文化カフェ④ 11月23日(土・祝)	4名	1年に一回のオープンカフェ
多文化カフェ⑤ 1月26日(日)	6名	日本の1月
小学校入学相談会 3月1日(土)	4組	入学に必要な書類と学校で使う用具類の確認
多文化カフェ⑥ 3月16日(日)	6名	日本の4月(お花見)

多文化カフェ①



多文化カフェ②



多文化カフェ③防災クイズ



多文化カフェ⑤日本の1月



○オープン多文化カフェ 11月23日(土・祝) **KIFA イベント**

○小平市民まつりに出店

<担当(生活情報提供チーム)>

①日 時 10月20日(日) / ②参加ボランティア 20名

④ 連携事業の武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科の学生のデザインによるのぼり旗を新調。



## (6) 災害時対応チーム

<担当(災害時対応チーム)>

事項	日時・事業名
防災クイズの実施	7月18日(木) つなひろ こだいらクラス 【テーマ】 やさしい日本語版「避難者カード」を書き方の説明
立川防災館ツアー	【日時】 11月1日(金) 12:30～ 16:30 【場所】 立川防災館 学園西町地域センターからマイクロバスで 【行きの車中】 防災クイズを実施 【参加者】 外国人3人、ボランティア5人(機関紙2名、通訳1名) 【訓練アトラクション】 救助訓練、地震体験室、VR 防災体験 【その他】 外国人の集客のため平日より土・日開催にしたい
小平市地域防災計画(素案)への意見の取りまとめ	11月20日小平市から地域防災計画(素案)への意見募集が12月19日まで実施され、計画(素案)には、外国人支援対策・外国人支援体制の整備・災害時外国人支援センターの項目があり、意見照会した。
災害時外国人支援避難所における外国人支援研修(主催 つながり創生財団)	日時 12月3日(火) / 場所 東京体育館 参加者 事務局、市職員、ボランティア合計3名 内容 講義①: 災害対応・避難所について 講義②: 外国人被災者が抱える課題と支援について ロールプレイ: 避難所に模した会場に移動し、避難している外国人被災者役から、困りごと等の聞き取りを行う
災害ボランティアセンター設置・運営訓練(主催 小平市社会福祉協議会)	日時 1月18日(土) 午後 場所 福祉会館等 参加者 事務局、ボランティア合計2名 内容 運営訓練は、ボランティアセンター専用アプリを使い、受付・マッチング・送り出し・資器材の作業をスマホにより行った。



大項目		小項目
通訳派遣依頼	2	○保育園入園手続きのため NPO 法人に通訳の派遣を依頼 (1 件) ○運転免許証取得のための面接の通訳の派遣依頼 (1 件)
生活相談	7	○高齢者外国人の住居の確保について (1 件) ○貸した金が戻らない (1 件) ○海外から避難してきた人への支援の検討 (2 か国 2 件) ○自治会に入会したい。→住んでいる所に自治会は無かった。(1 件) ○学生寮から退去した学生宛てに書留郵便が投函された。(1 件) ○小学校準備教室終了後に入国した。日本の小学校についての質問(1 件)
手続き	5	○保育園入園手続き (1 件) ○クリニックの予約方法 (1 件) ○都の補助金のスマホによる申し込み方法 (1 件) ○就学前健康診断の予診票、学童クラブ申込書記入の補助 (1 件) ○児童手当の請求書の記入補助(1 件)
在留資格	2	○短期滞在ビザと就労(臨時の報酬等)について(1 件) ○在留カードにスタンプが押されていない (1 件)
合計	16	

## ◆多文化共生に関する研修

研修名	日時	対象	場所	主催
多文化共生基礎研修	4月25日 午後	市・国際交流協会・社協職員、市民団体関係者	協会職員参加 リモート	つながり創生 財団
災害時外国人支援基礎研修	7月10日 午前	市職員、国際交流協会職員	協会職員参加 リモート	つながり創生 財団
東京国際交流団体連絡会議研修会	6月20日 全日	市職員、国際交流協会職員	協会職員参加 ふじみの国際交流センター	つながり創生 財団
「やさしい日本語リーダー」養成研修	7月19日 全日	市・国際交流協会・社協職員、市民団体関係者	ボランティア参加 NSビル	つながり創生 財団
東京都防災(語学)ボランティア研修	9月17~10 月31日	東京防災(語学)ボランティア・協会職員・市職員	eラーニング	都生活文化スポーツ局
共に生きるとは何か -難民の声、家族の歴史 考え多様性-	9月24日 (火)	東京国際交流団体連絡会議加盟団体職員・ボランティア	ZOOM ウェビナー	東京国際交流 団体連絡会議
多文化キッズコーディネーター研修	12月5日 (木)	日本語を母語としない子供の支援をしている方	対面 30名、ZOOM	つながり創生 財団
地域日本語教育の体制づくり担当者向け研修会	12月18日 (水)	自治体や国際交流協会職員、地域日本語教育関係者	ZOOM 80名	つながり創生 財団
「外国にルーツを持つ子どもの居場所づくり」	1月22日 (水)	市・国際交流協会職員・ボランティア	オンライン KIFA ボランティア 7名参加	自治体国際化 協会 (CLAIR)
ウクライナ避難民支援連携フォーラム	3月6日 (木)	関係者・市・国際交流協会職員・ボランティア等	Zoom	東京都生活文化スポーツ局

## ◆市の多文化共生に係る取り組み

小平市転入者全員に KIFA 案内チラシ・日本語会話教室案内の配布	実施済
職員への翻訳・通訳ボランティア派遣事業の周知	実施済
市報こだいらの一面（外国人特集）の作成	9月20号
在留支援のためのやさしい日本語 基礎講座 書き言葉編・話し言葉編 （市役所職員・窓口担当向け研修） 講師 東京出入国在留管理局在留支援部門 審査官	11月22日
小平市ホームページに小平市日本語会話教室の地図と一覧の掲載	11月27日通知

## II 国際交流に関する事業

### (1) ホームビジット

＜担当(事務局)＞

【内容】 参加希望の外国人（ゲスト）毎に、ホストをマッチングして、訪問家庭を決定する。  
受け入れ家庭がゲストの希望をヒアリングして、半日程度の家庭訪問を実施する。

【ホスト】 普通会员と学生会員（どちらもボランティア会員）および理事から募集  
学芸大学からタイ留学生へのホスト紹介の依頼あり。留学生の9人に対し、ホスト5名を  
マッチングした。

### (2) スポーツ交流の促進 こだいら市民駅伝大会 令和7年2月2日（日）荒天のため不参加 担当(交流イベントグループ・事務局)

【目的】 既存のスポーツイベントに外国人の参加を図り、スポーツを通じた交流を促進し、  
KIFAの活動をPRする。

- 参加者 2チーム参加 男子1チーム、女子1チーム
- 練習に参加した外国人 ベトナム2名、スペイン2名、キルギス1名

### (3) 交流イベント <担当(交流イベントグループ・事務局)>

○高尾山ハイキング 5月26日(日)参加者 6名

○ボードゲームカフェ

第1回 6月15日(土)参加者 3名 / 第2回 9月7日(土) 参加者 8名

第3回 12月21日(土)参加者 0名 / 第4回 2月8日(土) 参加者 6名

○東京江戸たてもの園 参加者 7名



高尾山ハイキング



ボードゲームカフェ

### Ⅲ 国際理解に関する事業

#### (1) 国際こどもクラブ

＜担当(国際理解講座グループ)＞

期間	受講料	受講者	講師	ボランティア
6月22日～7月20日 毎土曜日 全5回	5,000円	10人	・英会話講座 アメリカ出身 ・多文化理解講座 (講師出身国) 韓国、ブラジル、ドイツ フィリピン、中国	各回4人

※多文化理解講座では、今年度新たな取り組みとして、講師と子どもたちが双方向のコミュニケーションを促すプログラムの提案があり、子どもたちを3つのグループに分け、講師の国について学ぶグループワークを実施し、最後に子どもたちの発表が行われた。受講した2名は、外国ルーツの子どもでした。



#### (2) 英会話教室

＜担当(事務局)＞

【目的】 ネイティブの講師により、英会話力の向上を図る。語学力に磨きをかけることによって、協会プログラムやボランティア活動への参加を図る。

【内容】 レベル別クラスを10クラス設置。応募状況の差が大きく今後の課題

#### (3) 外国語会話教室

＜担当(事務局)＞

- タガログ語会話・文化体験講座
- 学びなおし外国語会話教室 (フランス語)
- 入門韓国語講座

#### (4) 多文化理解講座 in English

＜担当(国際理解講座グループ)＞

- ① 目的 多文化理解促進
- ② 内容 留学生等の講師による多文化理解講座を英語で行う。
- ③ 期間 10月12日 レバノン/10月19日 ドイツ/10月26日 モンゴル
- ④ 受講料 会員 1,000円、一般 1,600円 ⑤定数 24人 参加人数 19人
- ⑥ アンケート ほとんどの参加者から、国際理解が進んだ、楽しめた、来年もやってほしい、講師のプレゼンに高い評価があった。質疑応答の進行に意見があった。

(5) 世界の料理紹介

<担当(世界の料理グループ)>

○梅しごと (6月13日(木)) 参加者 6名

○チリ料理を作ろう(11月13日(水))参加者 6名



IV 情報収集、調査研究及び広報

(1) 機関紙発行 <担当(機関紙グループ)>

【内容】 協会で行った事業やボランティアの活動取材し、外国人インタビューや特集記事を企画して、記事を執筆する。編集会議で校正、レイアウトを決めて印刷業者に発注し、機関紙を発行する。 A4判、カラー刷り。部数 1800部

(2) 情報紙(ミニレター)の発行

<担当(事務局)>

- ①内 容 協会で行う行事などを中心に編集し、情報紙を作成・発行する。
- ②回 数 年10回(8月、2月は前月号と統合) ③部 数 1,800部

VI その他法人の目的事業

事業名	時期	連携先	連携内容
武蔵野美術大学 多文化共生論 (教養科目)	5月16日 (木)	武蔵野美術大学 教授 三代純平先生	三代先生の開講する「多文化共生論」にて、地域における外国人支援団体として活動を紹介。
武蔵野美術大学造形学部 視覚伝達デザイン学科	9月13日から 令和7年3月	武蔵野美術大学 教授 北崎允子先生	学生主体の「問題解決型プロジェクト」解決案(デザイン)までを、学生が実社会と関わりながら主体的に進める課題解決型学習。令和5年度から
	3月2日 (日) 13時 ~		研究発表会とワークショップ 会場 武蔵野美術大学 内容 KIFAで活動していた2チームが発表 ① 生活情報チーム「マンガで伝える How to use KIFA」 ② こどもチーム「日本語学習ツールくるびた にほんごランド」
学習院女子大学 ボランティア概論	10月21日 (月)	学習院女子大学 横田先生 「ボランティア演習」	「地域の外国人支援の現場から」をテーマとして、KIFAの活動から多文化共生について考える授業。
国際化市民フォーラム in TOKYO	2月15日 (土)	主催 国際交流・協力 TOKYO 連絡会/ 公益財団法人 東京都つながり創生財団	35の国際交流・協力、多文化共生に関する団体(NPO、NGO、JICA、国際交流協会、都)が参加している連絡会が主催する多文化共生を考えるフォーラムにKIFA職員が参加。

			A 分科会 「市民が支える多文化コミュニケーション」～コミュニティ通訳の役割と地域市民ができること～
--	--	--	--

## 協会運営

開催日時・場所	社員総会
社員総会 5月18日(土) 学園西町地域センター1階集会室にて	①令和5年度の事業報告について ②令和5年度決算及び監査について ③令和6年度事業計画(案)について ④令和6年度予算書(案)について ⑤理事の選任について

開催日時・場所	理事会
第1回 理事会 4月26日(金) リモート開催	①令和5年度の事業報告について ②令和5年度決算及び監査について ③役員を選任について ④令和6年度第一次補正予算案について
5月18日(土) 決議の省略	①代表理事選定の件
第2回 理事会 9月30日(月)	① 2024年度事業報告について ② 11月23日 イベントについて ③後援名義等使用承認申請について
第3回 理事会 12月9日(月)	①各ボランティアグループの事業報告 ②11月23日(土・祝)のイベントについて ③地域日本語会話教室の現状について

開催日時・場所	連絡会
第1回 連絡会 4月20日(土) 第1・2集会室	①KIFA 連絡会について ②理事会の結果報告について ③社員総会について④11月23日(土・祝)のイベントについて
第2回 連絡会 9月7日(土) 第1・2集会室	①各ボランティアグループの事業報告 ②11月23日(土・祝)のイベントについて
第3回 連絡会 11月30日(土)第1・2集会室	① 理事会の結果報告 ② 各ボランティアグループの事業報告 ③ 11月23日(土・祝)のイベントについて ④ 地域日本語会話教室の現状について
第4回 連絡会 2月15日(土)第1・2集会室	① 令和6年度事業中間報告について ② 令和7年度事業計画(案)について